

2004年8月3日

各位

三井化学株式会社

## ディーゼル車排出ガスNO<sub>x</sub>還元剤(高品位尿素水)の販売開始について

当社(社長:中西宏幸)は、日産ディーゼル工業株式会社(社長:仲村巖、以下「日産ディーゼル」)が、今秋、新長期排出ガス規制(平成17年規制)適合車として尿素SCR(Selective Catalytic Reduction)システムを搭載した大型トラック(ディーゼル車)を発売開始されることに対応し、同システムに排出ガス(NO<sub>x</sub>)の還元剤として使用される高品位尿素水を新たに製造販売することと致しました。

<概要>

1. 製品:ディーゼル車排出ガスNO<sub>x</sub>還元剤(高品位尿素水)
2. 商品名: AdBlue
3. 製造設備:当社大阪工場内に設置
4. 生産能力:20,000トン/年
5. スケジュール:着工:2004年7月  
完工:2004年9月  
販売開始:2004年10月
6. 売上高:50億円(07年度)

わが国の自動車排出ガス規制は、環境保全への取組みの高まりから年々強化されており、平成17年施行の新長期排出ガス規制に適合する自動車の開発が必須となっております。特に大型トラック等のディーゼル車の排出ガス低減は重要な課題であります。排出ガス中に還元剤として尿素水を噴霧し反応させ、無害な窒素と水に分解する尿素SCRシステムは、新長期排出ガス規制に適合する窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)低減技術の1つとして、注目されております。

当社は、中期経営計画において、レスポンシブル・ケア精神の下、環境問題に積極的に対応することとしており、尿素の国内トップメーカーとしてこのSCRシステムに着目し、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施した「高効率クリーンエネルギー自動車の研究開発」事業において、同システム導入に向けた課題検討に参画すると共に、同システムに対応した高品位な尿素水の安定的な製造方法の確立に注力して参りました。今般、日産ディーゼルが、尿素SCRシステムを搭載した新長期排出ガス規制適合の大型トラックを発売開始されるのを機に、当社はNO<sub>x</sub>還元剤としての尿素水(商品名: AdBlue)の商業生産を開始することとしたものです。

EU各国においては、大型ディーゼルトラックに本システムがスタンダードとして採用されることほぼ決定しており、わが国に於いても将来的にこのシステムがスタンダードとなる可能性が高く、その普及に伴いAdBlueの需要も増加していくものと期待されます。当社は、尿素SCRシステム搭載車の安全な稼働のために要求される厳しい品質基準を満たす高品位な製品を、全国各地の給油基地・トラックステーションに対し円滑に供給するため、当初は原料である尿素の製造プラントのある大阪工場を主力生産拠点と致しますが、順次国内各地に生産拠点を立ち上げ、整備していく所存です。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 古賀義徳 03-6253-2100